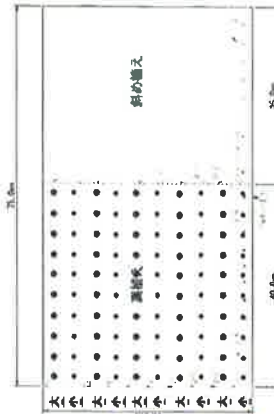
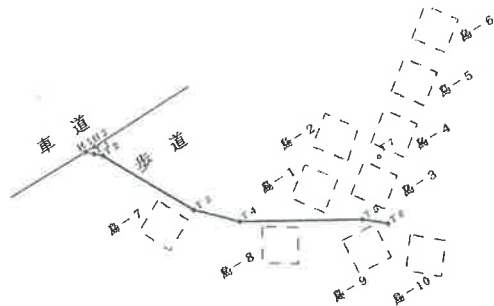
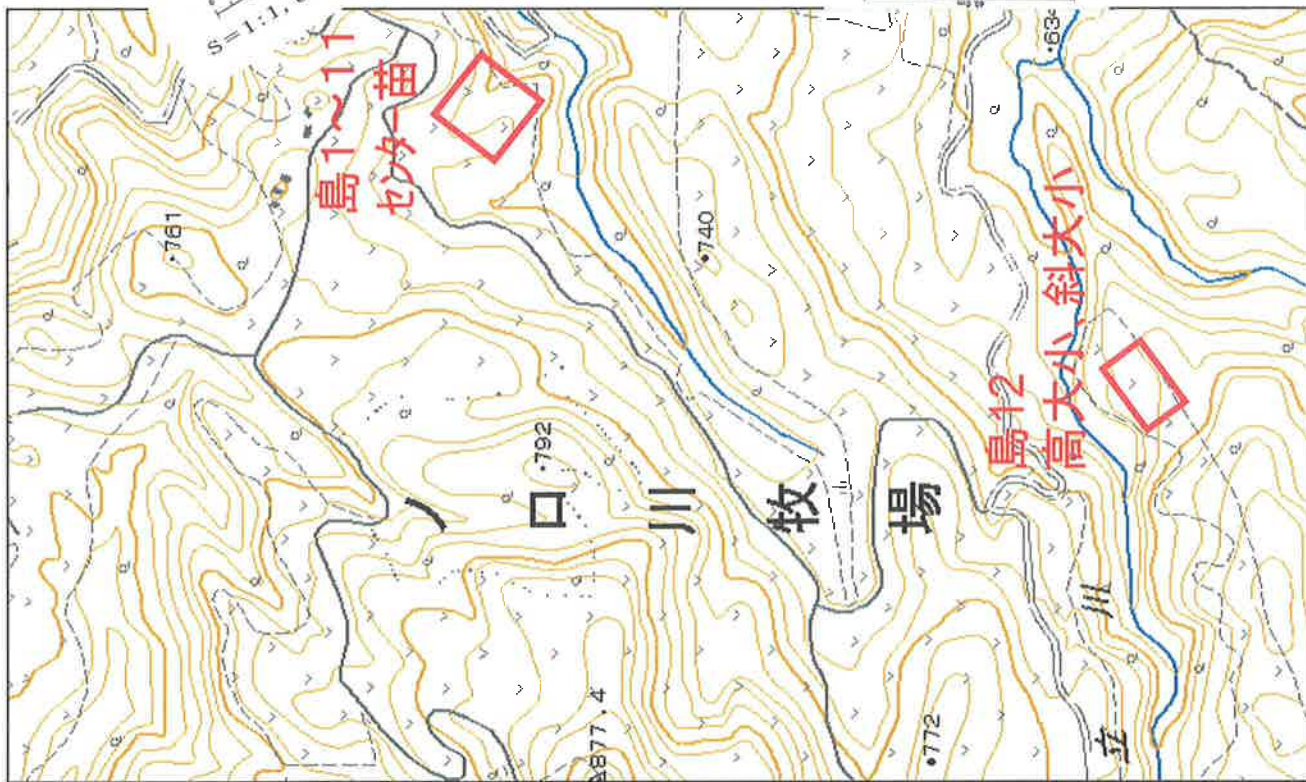


# 調査位置図



表一 調査区の仕様

島	採	規格	植え方	堆肥	種
島1	山	小	単	バ	完
島2	山	小	単	バ	完
島3	山	小	単	完	完
島4	山	小	3本	バ	完
島5	山	小	3本	バ	完
島6	山	小	3本	完	完
島7	山	大	単	バ	完
島8	山	大	単	完	完
島9	山	大	単	完	無
島10	山	小	単	バ	完
島11	育苗	極小	単	バ	完
島12	育苗	極小	単	バ	完
高大	山	大	単	耕	耘
高小	山	小	単	+	穀
斜大	山	大	単		
斜小	山	小	単		
センター	育苗	極小	単		無

大 : 100-200cm

小 : 30-50cm

極小 : 20-30cm

3本 : 3本寄せ植え

バ : 完 : バーク堆肥5kg  
完熟堆肥10kg

バ : バーク堆肥10kg

完 : 完熟堆肥20kg

2006秋植栽 : 島1~10、高大小、斜

2007秋植栽 : センター苗

2008春植栽 : 島11

2008秋植栽 : 島12

ブナ植栽木のモニタリング(2007~2011)  
 春季(6月)・・・獣害・雪害の程度確認  
 秋季(10月)・・・樹高・直径等サイズ測定

- 山採苗は実生苗と比べ枯死率が高い。
- 高植え・斜植え区は土壌良く成績良い。

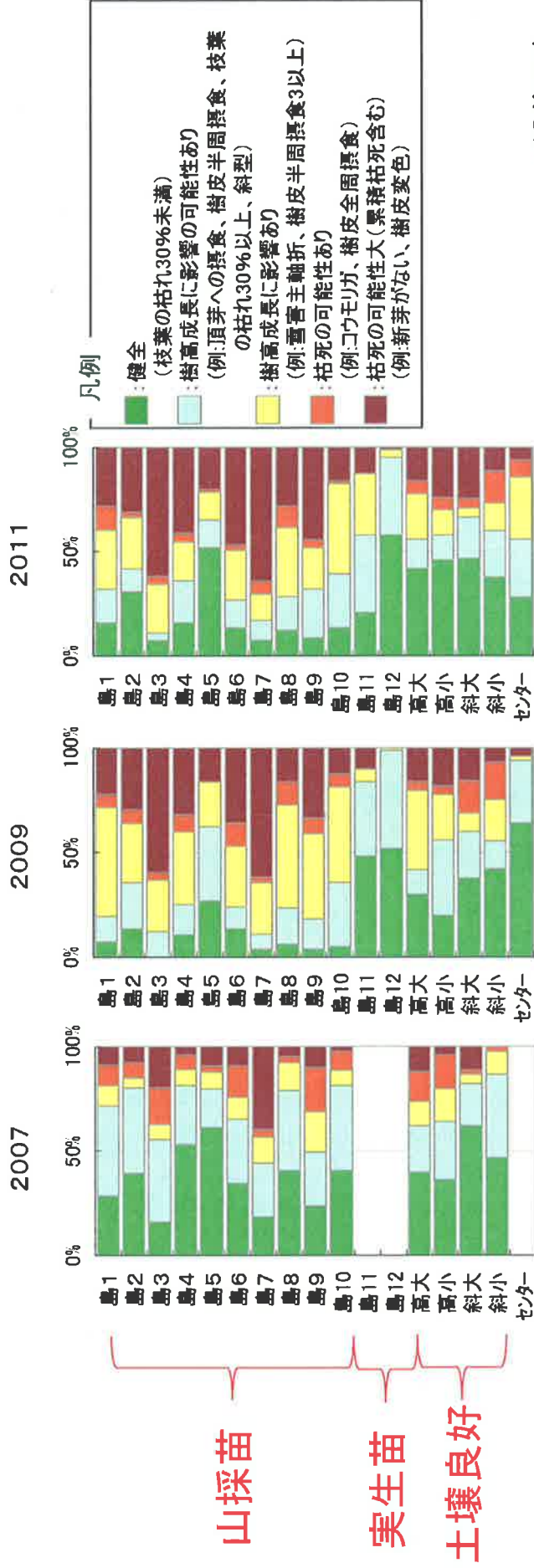


図1 島状植栽地別の健全度合いの推移(2007~2011)

- 枯死木発生は年々減少。
- 3年間で勝負！
- 活着不良、雪害、ネズミ害が要因。

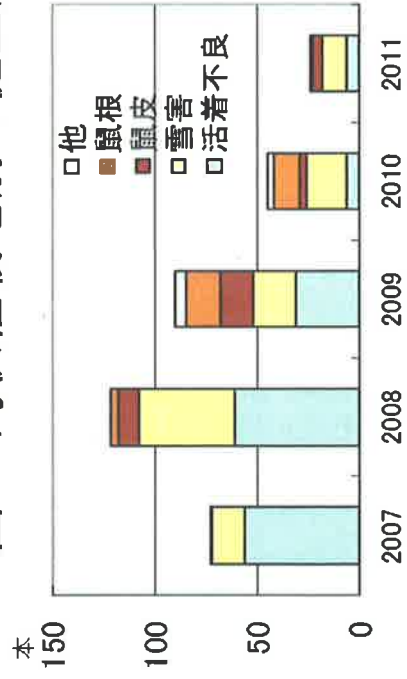


図3 枯死木発生の年別、要因別推移

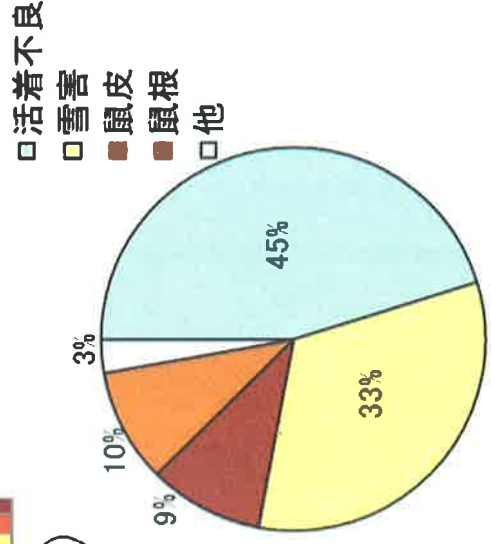


図2 枯死木の枯死要因

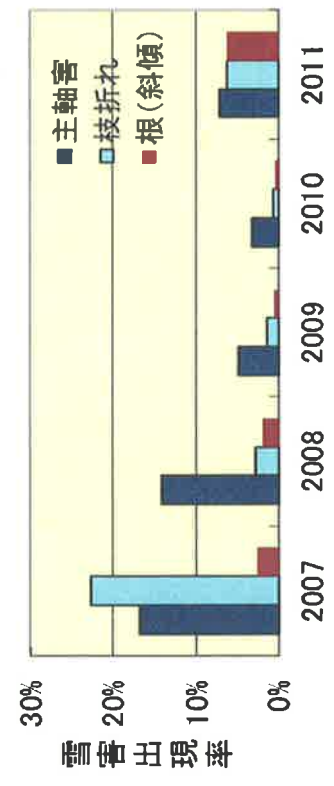


図4 雪害出現割合の変移

- 雪害は減少傾向で推移。
- しかし、2011年は豪雪により増加。

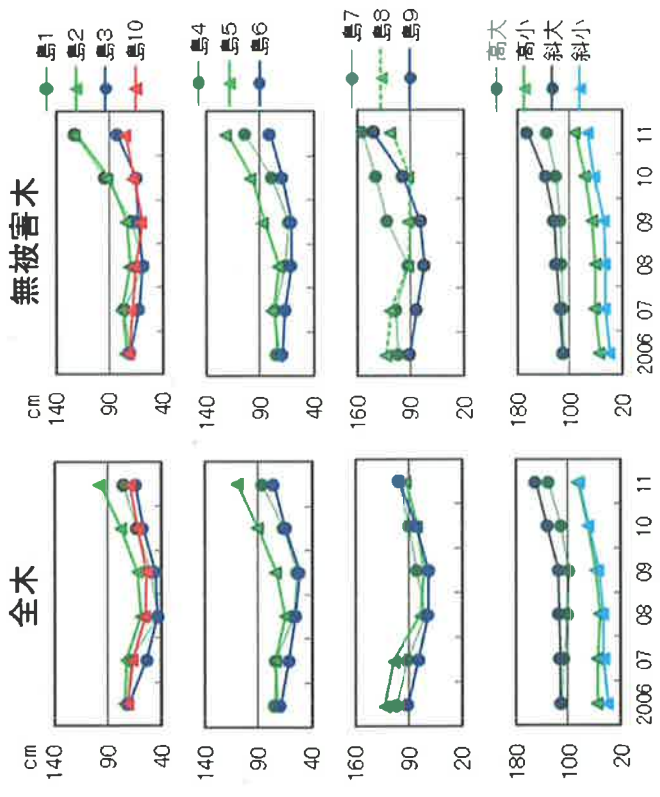


図6 樹高の変移

- 3年程度は成長見られず。
- 5年目ぐらいいからプラス成長。

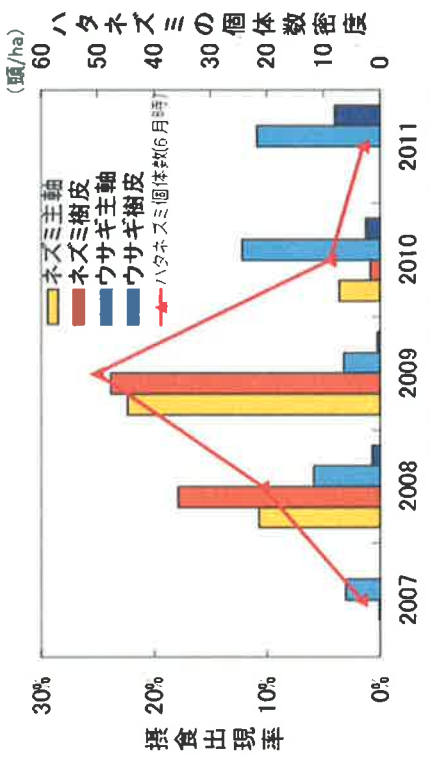


図5 ハタネズミの個体数と獣害出現割合の変移

- ハタネズミの密度は減。なぜ？
- ネズミ害は減、ウサギ害は増。
- 多雪の影響か。

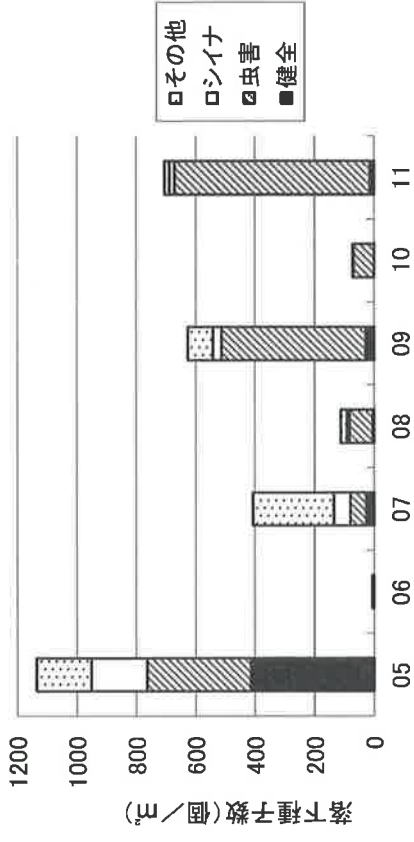


図7 ブナの開花・結実の年変動 (2005~2011)

- 開花は隔年。
- 2011年は凶作で6年間豊作なし。
- 2012年秋も凶作予想。